



会報

シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088



総会の後は親睦交流会です。
菅原副会長の「乾杯」でスタート!



みんな一緒にステージへ……
賑やかで楽しい交流会でした。

平成二十六年定時総会 会長挨拶要旨



会長

佐藤 利吉

定時総会の開催に当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、暑い日差しの中での庭木の剪定、屋根の塗装、リンゴの摘果や畑の草取りなどのお仕事に熱心に励まれ、まだまだ元気で働けることを実感し、頑張る意欲を持ち続けられますことに、衷心より敬意を表する次第であります。

さて、昨年度の就業実績は、各分野での皆様の努力によりまして、契約高が二億一千万円を超えました。前年に比べますと、百三十万円程減少しておりますが、それは、冬の積雪量が極端に少なく、除雪依頼が大幅に減少するという自然現象によるもので、決して皆さんの責任ではありません。

今年度の最大の課題は、大幅な会員の減少をいかにして食い止めるかということです。平成十七年度の会員数が七百五十九名、二十

六年度現在の会員は五百六十六名です。十年程で二百名近く会員が減少しました。

その影響は、農繁期に農協や農家などから大量の人員の要請があっても応ずることが出来ないのです。特に農業などはある程度の経験が必要であります。経験者が年々減少しており事態は益々深刻です。

また、高度な技能を必要とする庭木や塗装に関しても、会員の高齢化により、仕事に従事する会員が年々減少し、仕事の規模を縮小せざるを得ない状況にあります。このような状況打開のため、新規会員の入会促進は、全会員が今以上に力を傾注して取組まなければなりません。

昨年度、会員が様々な仕事をしている場面の写真を編集して、会員になった時どんな仕事をしているか、一目で分かるように大判のポスターを四種類作成、理事や地域の正副班長に頑張つて頂き、各地の公共施設や全市の様々な場所に掲示して貰いました。その効果は時期の遅れもあつて、はかばかしくありません。今年度もポスター作戦を継続して行い、入会意欲を喚起して参る所存であります。

新規会員の入会に最も効果的なのが、会員の口コミによる勧誘で

あります。新規会員に入会の動機を尋ねたところ、「会員である友人・知人に勧められたから」と言うのが圧倒的に多かつたのであります。

会員の皆様、当センターの現状をご理解頂き、気軽に友人知人に声をかけて、当センターで働くことの楽しさ、新しい仲間が出来る事などで、生きる喜びが生まれることなどを強調して頂きたいと思っております。全員が心一つにして取り組むことによつて、前途に新たな希望が生まれることを確信するものです。

さて、皆さんにこれからの人生を輝いて生きていただくために何をどうしたらいいか、お話ししたいと思ひます。

一口に申し上げますと、脳を喜ばせることです。そのために毎日小さな努力を積み重ねることです。一つ目は、豊かな表情です。人と会つたら笑顔と明るい声で挨拶しましょう。それがお互いの心を和ませ、脳を元気にしてくれます。二つ目は、姿勢です。人は楽しいときは上を向き、暗い気持ちの時は下を向きます。姿勢が良いと脳がやる気を出してくれるのです。三つ目は、仲間作りです。趣味を持ち、仲間と一緒に楽しみましょ

う。

私たちは働く高齢者です。地域の人々に支えられて働いて参りました。様々な感動で若返つた脳を活用して、世話になつた地域にご恩返しをしなければなりません。そのためにも、会員同士経験を交流し合い、技能の練磨に努める必要があります。

明るい表情で挨拶し、胸を張つて歩き、仲間と一緒に楽しく働き時には一緒に飲んで、歌つて騒いで生きる喜びを発散しましょう。皆様のご健勝を祈念して私の挨拶を終わります。



平成二十六年定時総会

総会・交流会

去る六月十三日、プラザ杉の子を会場に、「平成二十六年定時総会」が開催され、小畑元大館市長はじめ、岩谷一公共職業安定所長及び鈴木洋一、虻川信一両県議会議員並びに佐藤久勝市議会教育産業常任委員長から、激励のご祝辞を賜りました。

今年から定時総会は六月開催に変更されました。田植えも終わり一段落したころの開催となりますので、出席者が増えるのではないかと期待しましたが、会員減少はこんなところにも影響し、出席者が年々減少しております。

総会員数五百六十六人中、三百八十一人出席（委任状百二十一人、書面表決百三十五人含む）のもと、田代地区の木村明夫氏が議長に指名され、中嶋監事の監査報告に続き、平成二十六年事業計画及び収支予算などが報告されました。

また、上程された2件の議案、平成二十五年事業報告及び収支決算報告とも、満場一致で承認可決されました。

総会は木村議長の采配により予定通りに進行、お陰様で盛会裏に

終了できました。

総会の後は、会場を別にして恒例の親睦交流会に移りました。

交流会は九十人ほどの参加者でしたが、来賓の鈴木、虻川両県議及び佐藤教産委員長並びに下遠顧問にも参加して頂き、会員席を回り、一人一人にお言葉をかけていただきました。

会員同士お酒を酌み交わし、苦労したことや嬉しかったことなどに話が弾み、この一年を振り返りつつ、新たな一年も楽しくあれと願い、歌って踊って楽しい交流会となりました。



平成二十六年事業実施計画

- 一、事業の周知・普及啓発の取組み
- 一、会員増強及び就業機会拡大の一体的取組み
- 一、安全・適正就業への取組み
- 一、シルバー派遣事業及び有料職業紹介事業の実施
- 一、ボランティア活動の推進
- 一、シニアワークプログラム地域事業の支援

事業目標

- ①会員数↓630人
- ②就業延数↓5万人日
- ③契約高↓220,000千円
- ④就業率↓90%以上

平成二十五年事業報告

- ①会員数↓611人 (目標650人)
 - ・大館地区↓459人
 - ・田代地区↓85人
 - ・比内地区↓67人
- ②就業延数↓45,137人日 (目標5万8千人日)
- ③契約高↓210,961千円 (目標219,000千円)
- ④就業率↓79.9% (目標85%以上)

「部長紹介」

「友よ、ありがとう」



理事(広報部長)
三浦 剛

私がシルバー会員になったのは八年前、小・中の同級生で友人の越前賢三君から「シルバーさほねがあー」と誘われたからでした。彼は当時シルバーの比内事務所長として活躍していました。「お付き合いで入会するだけで良い」と思っていました。が、暫く過ぎてから「施設管理の仕事はどうか？」と勧められ仕事をすることになりました。

しかし、彼は五年前、突然病魔に襲われ治療に専念するため事務所の仕事を辞めてしまいました。病名は前立腺ガンであったようですが、本年二月体調が急変しあの世に旅立ってしまいました。誠に残念であり、心よりご冥福を祈るばかりです。親友を失った悲しみはとても大きいですが、今こうしてシルバーで元気に働いているの

は彼のお蔭であり心から感謝しております。

シルバー会員になって分かったことは『現役者に負けず、元気に働いている方が沢山いるなあ』と老人パワーに感銘した事です。今では『自分も年老いても社会の一員として世の中の何かの役に立ちたい』と思いつつ頑張っています。

彼の勧めで『シルバー作品展』に写真を出したのもこの頃でした。馬鹿チョン・デジカメで撮った写真なので出来栄は下手ですが、パソコンで写真印刷など全て手作りなのが自慢であり、ボケ防止と趣味も兼ねております。

縁があつて三年前に理事になりました。理事会の運営など不慣れですが、総務部、事業部、広報部に所属して何とか頑張っています。今、シルバー事業運営の最大の悩みは『年々、会員数が減少している』ことです。会員獲得のため、いろいろな施策を試みていますが減少に歯止めが掛からない現状です。事務局の調査で会員になった動機は何ですか？と尋ねると、自分もそうでしたが『友人・知人に勧められて』が最も多いそうです。

会員の皆様にも是非、身近な男性には「シルバーさはねがあー」とか、女性には「ヒバー皆でシルバーさひるべしー」など一声かけ、誘ってほしいと思います。

私も何時まで出来るか分かりませんが、体力の続く限り彼の分までシルバーで活躍したいと思っています。

たけのこ入林料金徴収



二十班
佐藤 眞平

平成二十四年六月にシルバーに入会し、二年になります。この間、葉タバコの収穫、選挙公報配布、田代岳登山道刈払い、自動車会社での洗車作業等、これまでにない経験をしました。

今年五月二十三日から六月二十四日までの一ヶ月間、たけのこ入林料徴収の業務に就きました。昨年の豪雨災害で早口沢が通行止めとなつたため、今年岩瀬瀨の板沢と大川目の二箇所のみとな

り、私は伊藤清さんをリーダーに仲間四人と交代で大川目につくことになりました。

初日は休憩所や電話の設置、電気設備等、必要なものの準備作業でした。

翌二十四日がいよいよ業務開始です。夜中の二時に起床し、三時から料金徴収に立ちました。ところが、車が五、六台通過した頃、軽自動車に沢に転落しているとの情報で110番。警察車両や消防車の往来で初日から騒動です。幸い車は大破を免れ、運転者も無事とのことでした。

また、六月十五日に親子連れの入山者が行方不明になり、必死の捜索にも発見されず絶望視されましたが、十日余り山中をさまよった隣の大鷹町で発見されました。その親子と料金所で会っていたと思うと唯々ホットしています。

今回入林料徴収に就いて思うことは、市から事前に説明を受けるわけですが、山菜の情報、道路の状況、景勝地の状況等、自分の目で確かめることが必要と感じました。特に道路の状況について入林者に聞かれた時、曖昧な説明になり困つたものです。



熊に注意！無理しないでネ

もう一つ、登山や滝を訪れる人が結構居ることです。滝の素晴らしさを説明する訳ですが、帰り際に期待外れだったと言われました。何でかなと、行つて驚いたことに、糸滝も、休屋周辺も一帯草ぼうぼう。滝は樹木で僅かに覗ける程度、滝壺は全く見えません。六月二十三日になって休屋周辺を除草したそうですが、もつと早く手入れをしてくれたらなど、後から大変申し訳なく赤面したものです。

以上、反省やら自戒、いろいろありましたが、スタッフに恵まれ

楽しく仕事ができありがとうございました。今後とも皆様のお世話になります。なるべく仕事は選ばず、誠実に、楽しく仕事ができるように努めます。ご指導宜しくお願いいたします。

追記(田代 木村明夫会員談)

市町村合併以前の田代町時代に、たけのこ入林料徴収で毎年一千万円超の収入がありました。作業員へ支払った後、余ったお金で山道の補修・整備やガードレール設置、またトイレを造ったり地域事業を支援したりして、大いに役立つたものです。

私の趣味「海釣り」



三班 沢木 正広

私が本格的に海釣りと関わり始めたのは、退職後で七、八年になりました。

初めは釣るだけが楽しみでしたが、一匹でも多く釣りたいと自分

で仕掛けを作るようになりました。経験不足ですが、私なりに仕掛けの糸を長くしたり短くしたり、錘に色を付けてみたり、試行錯誤して一日を過ごしています。

仕掛け作りも日々の楽しみであり、その仕掛けがうまく合った時は楽しさが倍になって戻ってきません。釣りの楽しみは仕掛け作りが五〇%、釣った時が五〇%ぐらいかと思っています。

私の場合、二月初旬から、能代港の北防波堤周辺の「水蛸釣り」から始め、五月下旬まで続きます。六月になるとイナダやワラサ釣りになり、キヌヤカレイと続きます。七、八月はマダイにアジ、カマス、ヒラメです。ヒラメは、釣った小アジを針に付けて、生かしたまま「泳がせ釣り」で釣ります。九月に入ると尺越えのアジが釣れます。十月に入り、イナダ、サワラが

釣れます。その季節になると、海の所どころに「ナブラ」が発生します。小魚を追ってイナダ、サワラが何百匹も群れを成し、イナダ、サワラに追われた小魚は海面に上り、その小魚を海鳥が餌として食すのです。この時期にしか見られない「海の祭り」です。

ナブラが数カ所に見られる時もあります。鳥も魚もそして人間もナブラに群がります。十一月末頃まで見られます。そして、十二月のハタハタ釣りで一年が終わりです。一年通しての釣りですが、自分では、二月に始める「水蛸釣り」が一番だと思っています。

今回、皆様には比較的になじみが薄いかと思われます。「水蛸」釣りについて、少し紹介したいと思います。

大きいものは重さ二十キ口、体長二メートルを超え、年に一、二匹釣り上げます。その時の写真を一枚添付しました。

私の場合、魚で二十キ口超えは釣ったことがありませんが、蛸だったら十キ口超えを年間通じて十匹以上釣ります。

蛸が針に掛かると重さを感じ、針が底掛かりしたようになります。蛸が自分の足の吸盤で海の底を掴んでいるのだと思われま。そんな時は、一旦釣糸を緩めてやります。すると

蛸は移動しようと、吸盤を海底から

離します。その時に合わせて糸を引き上げると大方の蛸は上がりま。蛸と人間の化かし合いです。しかし、必ず釣れるものでもありません。期間中釣果ゼロの日が二、三回あります。釣れない時は何が原因なのかと考え、反省し、再挑戦して釣上げる。これの繰り返しです。

近くにいる中学一年の孫は、毎晩我が家で夕食を食べています。私の釣ってきた蛸や魚を美味しく食べてくれ、楽しい夕食です。健康に留意して、当分は海釣りを続けたいと思っています。



二十キ口超！
重い！

シルバー人材センターに入会して



十七班
虻川 牧子

今春、四十年間の勤めを終え退職しました。

退職後は、十分とまでは言えませんが、充電しながら今まで出来なかった趣味に没頭し日々を過ごしていました。しかし、最近変化の無い日々が続く、何となく無駄に時間を過ごしている様に感じ、「何か自分に役立たせるものがないか」と考えていたところでした。そんな矢先、シルバー人材センターは「趣味を大事に仲間が交流する場」であり、また、「センターを拠点に仕事や趣味が出来るすばらしい会」と聞き、入会しようと思いました。

以前だったら「シルバー人材センター」と聞くと、「老人」のイメージが強く、入会にためらいもありましたが、五月の説明会で事務局長さんの説明を聞いているうちに心が動かされ、入会させてい

ただきました。

仕事は種々ありましたので自分の希望、仕事の内容など話をし、また、サークル活動の方も盛んに運営されているとのことでした。

会員になって日も浅く、自分ができる仕事はまだ見つからないのですが、健康体操「そよかせ」に入れていただき、毎回楽しみに参加させて頂いています。先輩たちとの「お茶タイム」も、これまた格別の楽しみの一つです。

六月に総会・交流会があり、初めてでしたので興味をもって参加させて頂きました。交流会では健康体操の会員によるダンス発表があり、すばらしく盛会だったと思っております。この年齢にして、お揃いの衣装でステージに立ちダンスを披露でき、達成感に浸りながら今後のライフワークにと思っております。今までの職場も先輩、同僚、後輩と交流を深めていただきましたが、こういう仲間もいいものだなあと思いつつ、仕事よりサークル活動のある日を楽しみにしている毎日です。

入会してほんの少しの時間、三箇月ばかりですが、これからの人生、この様な楽しみ方もあるのだ

なあと、しみじみ実感しております。これからもどうぞ宜しくお願いします。



練習の成果を披露

職員紹介



主任
齋藤 辰美

平成十四年四月に採用され、二年になります。最初に指示された仕事は、電話や来客対応でした。それまでの私と云えば、サッカー選手に憧れて高校卒業後ブラジル

に留学しました。日本に戻ってはアルバイトでお金を貯めて再度留学するなど、サッカー一辺倒でした。そのため職業経験が乏しく、電話が掛かってくるとドキドキし応対に苦労したことを今でも鮮明に覚えています。

相手の話が聞き取れないことが多々あり、「電話の内容はしっかりと把握すること」「必ずメモ書きすること」と、上司に何度も指導を受けたものです。お客様と会員との仲立ち、見積りや契約、クレーム対応など事務局はいつも忙しくて手取り足取り教えてはくれません。先輩職員の仕事振りを見て覚えたものでした。

現在、私の担当業務は「除草、換障子張替、大工、その他一般作業」が中心で、春から秋まで繁忙期です。今の時期は「チョー」多忙です。注文が殺到する除草作業で、下見・見積り、会員配置、事務処理等に追われる毎日です。

一方でここ数年、会員減少が続き困っています。除草の多くは大館地区に集中するのですが、お客様に「二週間待って下さい」とお願いせざるを得ない状態です。公園や工場敷地、一般家庭や農家な

ど、除草作業は沢山あるのですが、草取りを引き受けてくれる会員が入会してきません。

近頃は会員減少に加え、補助金の行く末や公益法人制度改革、適正就業の確保など、シルバー人材センターにも次から次と課題が発生しております。これも神様が与えた試練だと思つて日々の業務を確実にこなし、経験を積み重ね、時代の流れに乗って行けるよう勉強していきたいと思つております。

私たち職員は、会員に対する仕事の公平性の確保や安全適正就業などで、理事会からもしっかりと行うよう指導を受けています。指摘を受けることのないよう配慮しているつもりですが、地域性や一人一人の技能、お客様の意向等で思うようにいかないこともあり申し訳なく思っております。

会員の皆様には、時にはキツイ仕事、汚れ仕事なども引き受けていただき感謝しております。引き続き事務局を支えて頂きますようお願いし、また事故のないように安全就業に留意され、元気に活躍されることを願っております。

全シ協「安全スローガン」

・全シ協選出の安全スローガンが、三年ぶりに更新されましたので、ご紹介いたします。

『見逃すな』

『ヒヤリで済んだ あの経験』

群馬県渋川市SJC 小針 賢二郎

全シ協が三年ごとに募集し、最優秀賞に選ばれた作品を平成二十八年度までの三年間使用されます。

県シ連「安全標語」

・平成二十六年年度「秋田県シルバー人材センター連合会安全標語受賞作品」を紹介します。(敬称略)

最優秀賞

『ベテランが次代にたくす宝物』

北秋田市SJC 北林米蔵

優秀賞

『便利なの』

北秋田市SJC 齋藤 劼

優秀賞

『整理整頓 指さし確認』

湯沢市SJC 布目弥一

新会員紹介

(敬称略)

岸	藤	算	山	高	柴	工	工	工	畠	蛇	石	和	小	蛇	谷	田	藤	富	阿	畠	柏	神	菅	安	山	渡
原	原	木	清水	清水	田	藤	藤	藤	山	川	戸	田	林	沼	地	中	原	部	部	山	山	山	原	藤	内	部
春	忠	正	喜	正	昭	俊	一	政	正	牧	睦	昭	キ	弘	恒	隆	文	利	恵	忠	美	テ	幸	敬	ミ	金
雄	男	夫	代	司	男	斎	則	則	正	子	子	次	子	弘	夫	男	子	久	子	記	子	一	子	子	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
四	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班

・以上、平成二十五年十二月二十五日以降、二十七名の方が仲間入りしました。

訃報

21班 田村弘子殿(77歳)
ご冥福をお祈りいたします

お知らせ

次回以降の配分金支払日

七月分↓九月一日
八月分↓九月三十日
九月份↓十月三十一日
十月分↓十二月一日
十一月分↓十二月三十日
・就業報告書は、早めの提出をお願いいたします。

事務所夏季休業のお知らせ

八月十三日(水)～
八月十七日(日)

・この期間事務所が休業となります。緊急時の連絡先は、總會資料を御覧下さい。

会員作品展の日程と会場決定

- ・ 期日 11月8日・9日
- ・ 会場 大館市立中央公民館
- ・ 出展希望の方は、事務局へ連絡して下さい。
- ・ 友人知人ご近所、お誘い合わせの上ご来場下さい。

一泊旅行のお知らせ

- ・ 旅行先 象潟・酒田と由良温泉
- ・ 出発日 11月3日(一泊二日)
- ・ 宿泊先 由良温泉ホテル八乙女
- ・ 参加費 一人二万四千元
- ・ 募集人数 四十人
- ・ 申込み期限 9月30日
- ※詳しくは、別添の「一泊旅行のご案内」をご覧ください。

シルバー人材センター出張説明会の実施

- ・ 会員獲得のため、比内地区と田代地区で出張説明会を開催します。
- ・ 友人知人ご近所に周知して頂きますようご協力をお願いします。

☆「比内地区」出張説明会

期日 11月2日(火)

会場 比内公民館1F「第二研修室」

時間 午前九時から十二時

☆「田代地区」出張説明会

期日 11月3日(水)

会場 田代一分館

時間 午前九時から十二時

※毎月第二・第四水曜日に入会説明会を開催しています。

「一人がひとり入会促進運動」にご協力をお願いします。

会場 11月センター研修棟
時間 午前九時開始

「サークル」紹介

・悠々クラブ

手芸を通じた交流。(毎週土曜日)

・健康体操「そよかせ」

貯筋体操で交流。(月二回)

・シルバー「山の会」

山歩き又は温泉。(月一回)

・シルバー「麻雀同好会」

「賭けない・飲まない・吸わない」健康麻雀。(毎週日曜日)

・ゴルフ愛好会

ゴルフで親睦交流。

・それぞれ「会費」や「ルール」があります。興味のある方は事務局まで連絡して下さい。
※仲間に対する過度な干渉や自己主張は控えましょう。

一斉奉仕作業の御礼

去る七月五日に実施された、第三十四回「一斉奉仕作業」の際は、早朝にもかかわらず大勢のご参加を頂き感謝申し上げます。お陰様で市民各層に向けて、大いにアピールできました。



一斉奉仕作業「田代スポーツ公園」

庭木班の奉仕

・庭木班の皆さんがセンター前庭樹木の剪定をして下さいました。お陰様で綺麗になりました。ありがとうございます。

編集後記

月日が経つのは早いもので、一年の半分が過ぎて仕舞いしました。その間に世の中は色々な出来事があり、私達も安閑としていられない今日この頃です。我が街大館では、タケノコ採りで十日間も山の中で過ごし、奇跡的に救助された親子、熊に襲われた五才の男児を救った犬の事等、話題になりました。

しかし、この件について考えなければならぬ事があります。それは、心のどこかに油断があったからではないでしょうか。日常の作業も同じ事が言えると思います。

何卒会員の皆様方の経験と技能等を充実させて安全に作業をして下さる様お願いいたします。

三浦、伊藤、鈴木、畠山、安田